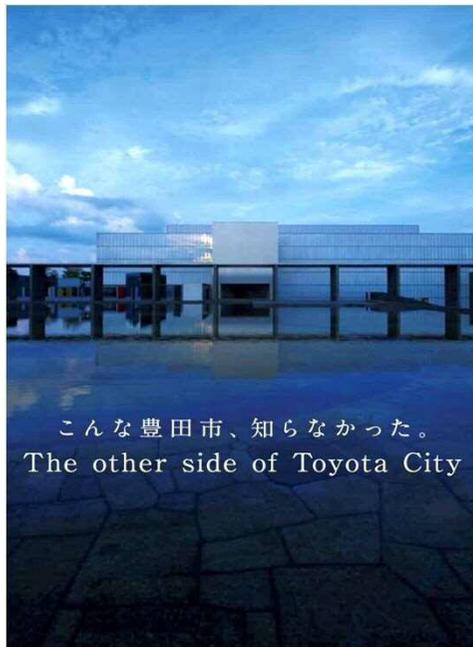
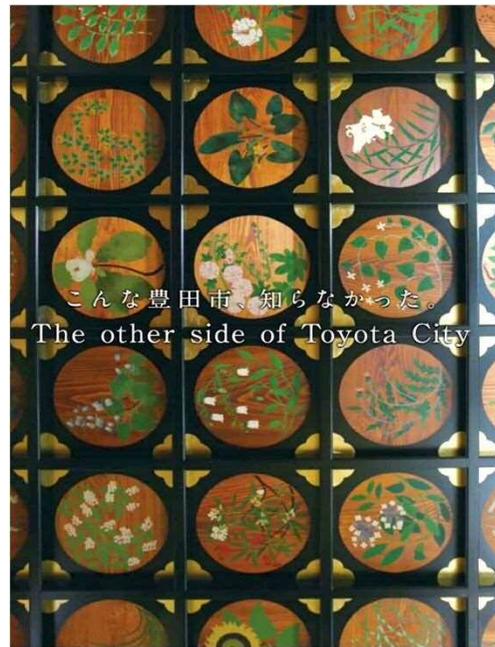


地域特性に応じた住民共働による健康づくり — きらきらウエルネス地域推進事業 —



豊田市美術館



こんな豊田市、知らなかった。
The other side of Toyota City

松平東照宮の天井画



豊田市役所 保健部 地域保健課

2023.6.9 第167回 市町村セミナー

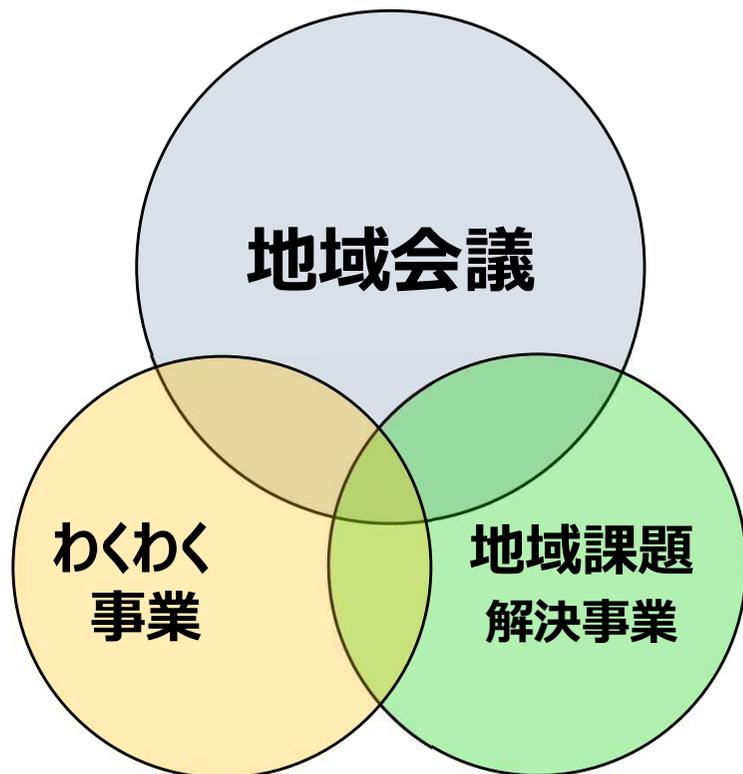
豊田市について…

平成17年の合併で広域化



豊田市 「地域自治システム」

地域自治システム



都市内分権を推進し、
地域の意見を市政に
反映し、地域の課題を
地域が自ら考え、解決
するための一連の仕組
み

地域のことは、地域で決める

各中学校区「交流館」に

「地域コミュニティ活動」の拠点を設置

豊田市 28中学校区について

Web統計とよた 2023年4月1日人口

	人口	0歳人口	高齢化率
豊田市	416,747	2,746	24.3%
A地区	29,610	192	22.4%
J地区	15,038	138	14.6%
I地区	2,031	5	52.4%



地域特性に応じた住民共働による健康づくり

きらきらウエルネス28 (豊田市第8次総合計画重点施策事業)



豊田市の健康課題 その1 急激な高齢化

豊田市の高齢者の健康 **フレイル予防で健康寿命を延ばそう!**



出典：※1 要介護認定率に基づき方法を用いて算定(127)、※2 国勢調査による市区町村別平均寿命(127)、※3 豊田市高齢者等実態調査(128)、※4 健康づくり推進21計画(第三次)、※5 豊田市要介護認定率(11.10)

運動習慣、食生活などの見直しで、フレイルの予防・改善が可能! **具体的な方法は今すぐ裏面を!**

豊田市の健康課題 その3 野菜摂取量が少ない



地域特性に応じた住民共働による健康づくり

きらきらウエルネス28 (豊田市第8次総合計画重点施策事業)

【ステップ1】



ここってどんな地区？



PDCAによる住民主体の健康づくりサイクル

【ステップ5】

やってどうだった？



◆効果の検証・事業の見直し

【ステップ2】

なにをするとよい？



◆意見交換会の開催



きらきらウエルネス地域推進事業

～地域単位で健康づくりのサイクルをまわしましょう～

【ステップ4】

やってみよう！



◆計画に基づく事業の実施

【ステップ3】

どうやってやる？



◆計画の作成・見直し



【ステップ2】健康づくり意見交換会

* 健康づくり計画作成に向けた住民の意見の抽出の場

* 保健師は、地域健康カルテを活用して地区の健康課題を説明する。
課題解決に向けて住民の意見を出し合い、実現可能な健康づくり事業案を考える（2回程度開催）



子どもから大人まで一緒にできるラジオ体操を実施したらどうかな？

当院の看護師が「今日は1日中血糖検査ばかりだった」ということもあり、高血糖者が多いという印象はある。

ウォーキング推進には、自治区ごとに歩数計を貸出して体験会を行ってはどうかかな？

高血圧者が多いのは、五平餅や豚汁など濃い味を好む人が多いからかな？



【ステップ3】地域の健康づくり計画の作成

* 意見交換会で出された意見を住民と一緒に計画に作り上げる 評価方法や役割分担を明確にする

(4～5回開催)



地域特性に応じた住民共働による健康づくり

きらきらウエルネス28 (豊田市第8次総合計画重点施策事業)

【ステップ1】



ここってどんな地区？



PDCAによる住民主体の健康づくりサイクル

【ステップ2】

なにをするとよい？



◆意見交換会の開催

【ステップ5】

やってどうだった？



◆効果の検証・事業の見直し

◆地域診断 (地域健康カルテ)

きらきらウエルネス地域推進事業

～地域単位で健康づくりのサイクルをまわしましょう～

【ステップ4】

やってみよう！



◆計画に基づく事業の実施

【ステップ3】

どうやってやる？



◆計画の作成・見直し

【ステップ4】計画に基づく健康づくり事業の実施

*健康づくりボランティア（黄色のTシャツ）・自治区・地域会議・
コミュニティ会議・企業・学校等と連携強化

可能な限り
住民主体で



ラジオ体操

自治区での元気アップ教室

多様な主体との
共働・連携の促進



スーパーで1日野菜350g
啓発

小中学校へ出前
講座

健康ボランティア
の活躍



中学校区ごとに活動
(会員数R5年度 249人)

味噌汁の飲み比べ

情報発信



地域特性に応じた住民共働による健康づくり

きらきらウエルネス28 (豊田市第8次総合計画重点施策事業)

【ステップ1】



ここってどんな地区？



PDCAによる住民主体の健康づくりサイクル

【ステップ2】

なにをするとよい？



◆意見交換会の開催

【ステップ5】

やってどうだった？



◆効果の検証・事業の見直し

◆地域診断 (地域健康カルテ)

きらきらウエルネス地域推進事業

～地域単位で健康づくりのサイクルをまわしましょう～

【ステップ4】

やってみよう！



◆計画に基づく事業の実施

【ステップ3】

どうやってやる？



◆計画の作成・見直し

平成30年度 住民参加による地域の健康づくり発表会



【ステップ5】効果の検証① * 事業評価はアウトプットとアウトカム指標で行う

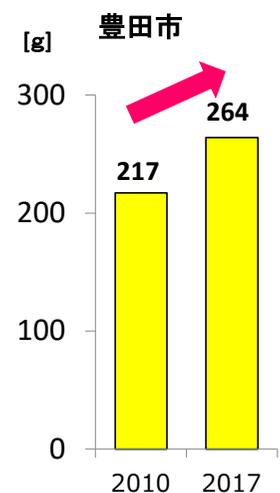
介護予防教室開催か所数と要介護認定率

自主G数 2.5倍・参加人数2.8倍
介護認定率横ばい



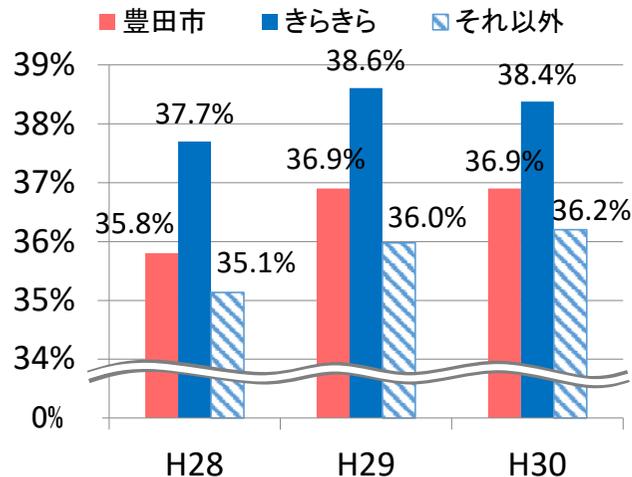
1日当たりの野菜摂取量（20歳以上）の変化

7年間で47g増加

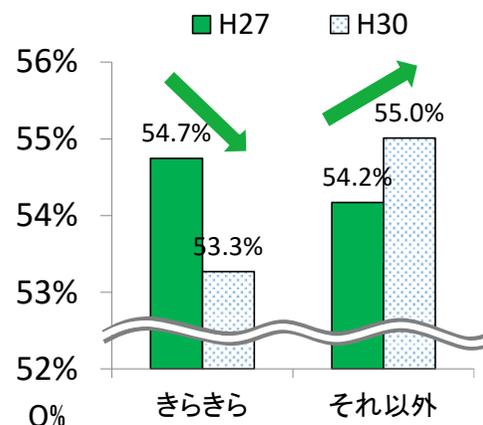


特定健診結果のうち、事業実施地区と未実施地区を比較し変化が大きい指標（H27～H30）（%）

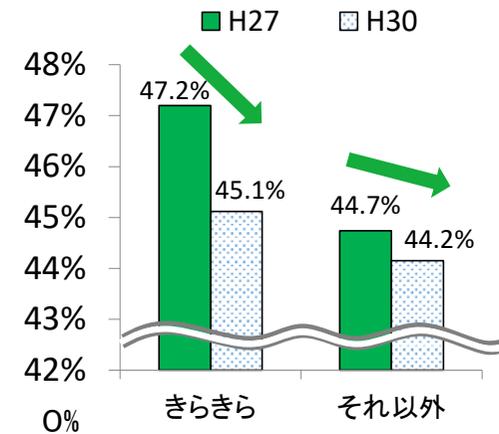
特定健診受診率



LDL



収縮期血圧



【ステップ5】効果の検証②

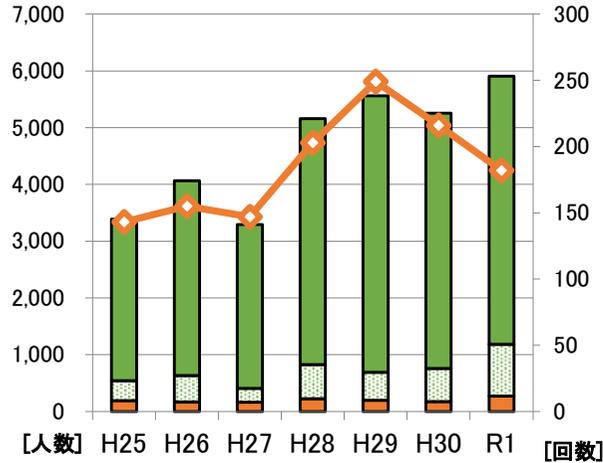
* 間接事業（委託等）と直接事業の比重の転換を意図的に図る

* きらきら事業の推進により、地域との関係性が密になり地域の健康づくり計画による事業や、地域からの依頼による教育や相談、問題を抱えるケースへの支援が増加

◆ 保健事業実績の推移

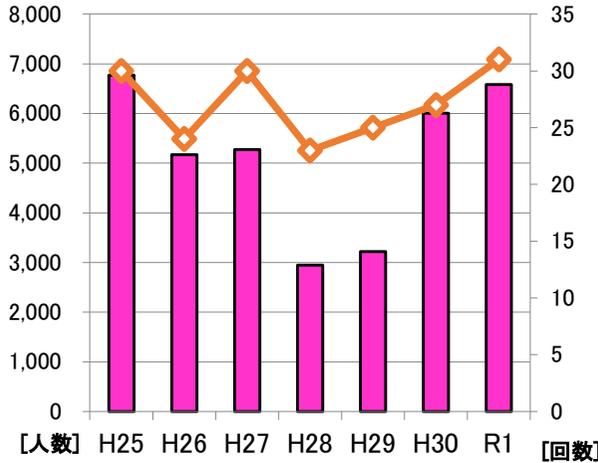
健康教育(成人・高齢者)

~39歳 40~64歳 65歳~ 回数



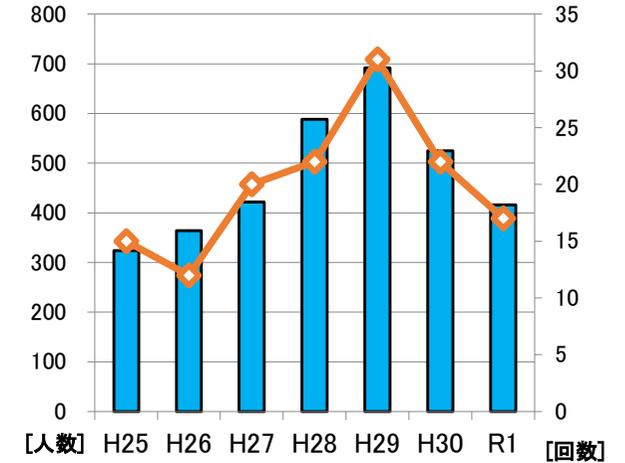
健康教育(学校)

参加者数 回数



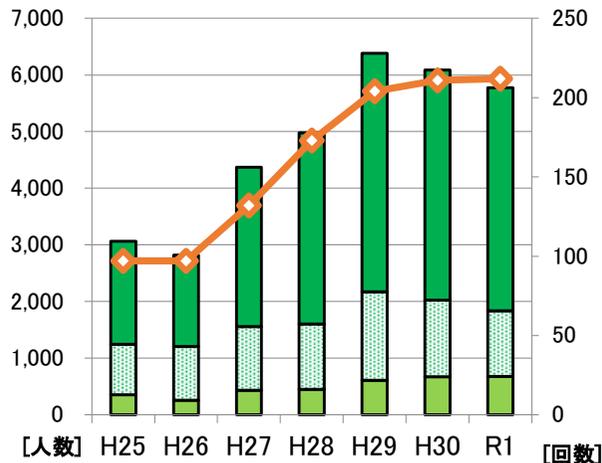
健康教育(母子)

参加者数 回数



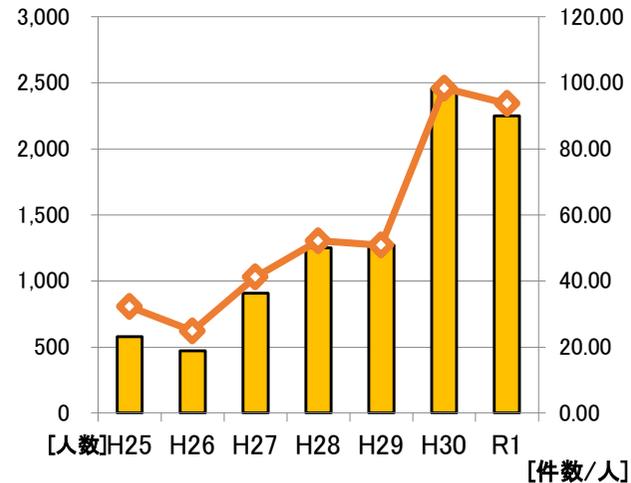
健康相談

~39歳 40~64歳 65歳~ 回数



家庭訪問

訪問件数 件数/人



活動の成果

- 地区担当保健師の存在と役割が地域へ浸透
- 地域健康カルテの周知により健康づくりの課題を意識化
- 地域みんなで、わいわい！がやがや！話合うことで、健康づくりに対する機運の盛り上がり
- ヘルスサポートリーダー（豊田市健康づくり協議会）の活動の定着
- 各組織団体の健康づくりの取組が横展開
- 介護予防教室開催数の増加
- 保健師の人材育成



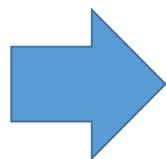
今後の課題



- ・若い世代への健康づくりへの働きかけ
- ・多様化する市民ニーズへの対応
- ・就労年限の長期化による地域住民の変化とヘルスサポートリーダー等地域の健康づくりの担い手不足
- ・山村地域の更なる人口減少と過疎化

●「地域」のとらえ方の変化

- ・「職域 = 住民」ととらえた健康づくり対策
- ・SIB (social Impact bond) の拡大 等民間との共働推進の在り方
- ・新しい健康 (地域) づくりの人材育成戦略の必要性



ご清聴ありがとうございました。



たんころりんのタベ



香嵐溪のライトアップ

